

2024 vol.1 タウントーク

”地域の歴史から観光の魅力を発信：
王子軽便鉄道ミュージアム
山線湖畔驛へようこそ！”

写真：王子軽便鉄道ミュージアム山線湖畔驛

○2024年度 第1回タウントーク

「地域の歴史から観光の魅力を発信：
王子軽便鉄道ミュージアム
山線湖畔驛へようこそ！」

*日時：5月29日(水)

18時～19時30分

*会場：ちとせまちライブラリー

*ゲストスピーカー

○吉田淳一氏

公立千歳科学技術大学

名誉教授 工学博士

○木下宏氏

支笏湖ビジターセンター元所長

- タウントーク担当 -

*曾我 聡起

公立千歳科学技術大学 理工学部

情報システム工学科 教授

*川名 典人

公立千歳科学技術大学

大学院客員教授

*お問い合わせ

n-kawana@photon.chitose.ac.jp

2024年度第1回タウントークのテーマは「地域の歴史から観光の魅力を発信：王子軽便鉄道ミュージアム山線湖畔驛へようこそ！」です。

苫小牧市にある王子製紙苫小牧工場は1910年明治43年に工場が完成しました。千歳川の豊かな水資源や支笏湖地域にある豊富な森林資源が工場には適していたと考えられます。伐採された木

材を運ぶために王子軽便鉄道が開通しましたが、1922年からは一般乗客も利用したことから地域の方には大変愛着のある重要な鉄道だったと考えられます。この支笏湖の”産業遺産”といえる山線の資料やストーリーを保存・発信している場所が「王子軽便鉄道ミュージアム山線湖畔驛」です。ミュージアムには機関車の設計図や当時の貴重な

写真ばかりでなく、2019年に千歳川から発見された当時の刻印付き鉄道レールも展示されています。

今回のタウントークでは、このミュージアム設立に深く関わった木下宏氏と、王子軽便鉄道で使われたデルタ線をジオラマ上で忠実に再現した公立千歳科学技術大学名誉教授の吉田淳一氏がミュージアムに展示されている資料とデルタ線の構造

や仕組みを説明いたします。また、ジオラマのデルタ線で走行する列車の様子を動画で紹介いたします。最後に王子軽便鉄道や近代化産業遺産群や選奨土木遺産だけでなく、千歳市有形文化財でもある山線鉄橋から歴史遺産ツーリズムの可能性を考えます。

○次回のタウントーク
7月25日(木)

○タウントークはオンラインでも実施いたします。下記のサイトから右側のQRコードから情報を取得してください。

<https://snc.chitose.ac.jp/snc/towntalk.html>

